
1/1

JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 05114986

(43)Date of publication of application: 07.05.1993

(51)Int.Cl.

H04N 1/32 H04M 3/46

(21)Application number: 03222229 (71)Applicant: MURATA MACH LTD

(22)Date of filing: 06.08.1991 (72)Inventor: HAYASHI SHUNSUKE

(54) FACSIMILE EQUIPMENT HAVING BROADCAST TRANSMITTING FUNCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To perform the broadcast communication by setting and registering the group classification and the telephone number of a transmitting destination, retrieving automatically the transmitting destination of a special group and performing the automatic calling.

CONSTITUTION: The group classification and the telephone number of a transmitting destination are set and registered to a transmitting destination registration memory 1. When the broadcast communication is started, a signal processing part 5 performs the special program designated by a transmitting destination group designating means 2 is retrieved from the registration memory 1 and list-displayed at a displaying part 9. The displaying is made visible, and after the decreasing, correcting and subscribing of the transmitting destination are performed, an automatic calling means 3 is operated, the transmitting destination is successively called, the data are read from an image memory 4, and the broadcast transmission is performed. Thus, the broadcast communication can be automatically performed to the designation group and the operation convenience can be improved.

LEGAL STATUS [Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

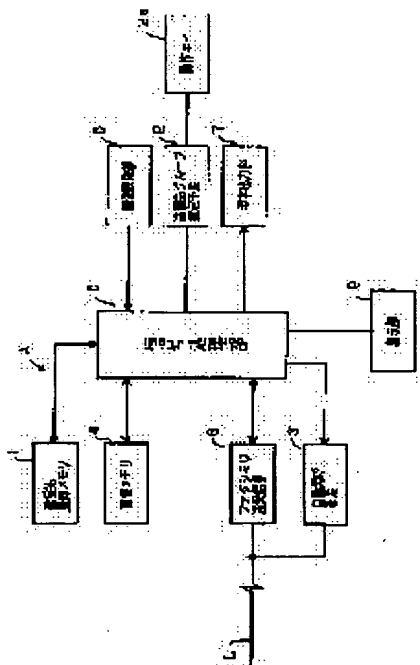
[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-114986

(43)公開日 平成5年(1993)5月7日

(51)IntCl.⁵

H 0 4 N 1/32

H 0 4 M 3/46

識別記号

庁内整理番号

H 2109-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平3-222229

(22)出願日 平成3年(1991)8月6日

(71)出願人 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

(72)発明者 林 俊介

京都市伏見区竹田向代町136番地 村田機

械株式会社本社工場内

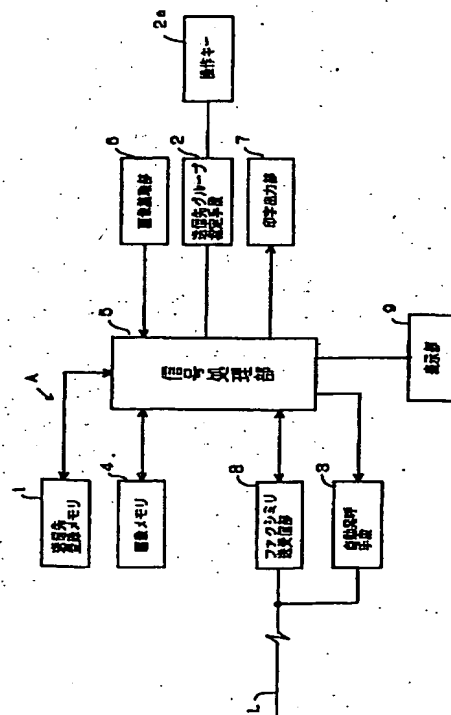
(74)代理人 弁理士 中井 宏行

(54)【発明の名称】 同報送信機能を有したファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 特定グループに所属する送信先を自動検索した後、自動発呼して同報通信の行えるファクシミリ装置を提供する。

【構成】 送信先のグループ種別と電話番号を少なくとも設定登録するようにした送信先登録メモリ1と、この送信先登録メモリ1において登録設定された送信先をグループ単位で指定する送信先グループ指定手段2と、この送信先グループ指定手段2によって、特定の送信先グループが指定されたときには、自動発呼手段3を作動し、その送信先グループに所属する送信先を順次発呼して、画像メモリ4に格納させた画像データを送信させる信号処理部5とを備えた構成となっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】送信先のグループ種別と電話番号を、少なくとも設定登録するようにした送信先登録メモリと、この送信先登録メモリにおいて登録設定された送信先をグループ単位で指定する送信先グループ指定手段と、この送信先グループ指定手段によって、特定の送信先グループが指定されたときには、自動発呼手段を作動し、その送信先グループに属する送信先を順次発呼して、画像メモリに格納させた画像データを送信させる信号処理部とを備えたことを特徴とする同報送信機能を有したファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、同報送信機能を有したファクシミリ装置の改良に関する。

【0002】

【従来技術】近時、送信すべき原稿を、画像読取部で読取走査して画像メモリに一旦格納させてから、複数の送信先を順次自動発呼して画像メモリに格納された画像データを送信できるようにした、いわゆる同報通信機能を有したファクシミリ装置が開発されているが、従来のこのようなファクシミリ装置を使用して同報通信を行なう場合、送信すべき送信先を、操作キーによって逐一入力指定してからスタートスイッチを操作して送信する必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、電話番号とともに、送信先のグループ種別を予め登録しておけば、グループ種別を指定するだけで、指定したグループに所属する送信先を自動的に検索した後、自動発呼して同報送信できる新規な機能を備えたファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために提案される本発明は、送信先のグループ種別と電話番号を少なくとも設定登録するようにした送信先登録メモリと、この送信先登録メモリにおいて登録設定された送信先をグループ単位で指定する送信先グループ指定手段と、この送信先グループ指定手段によって、特定の送信先グループが指定されたときには、自動発呼手段を作動し、その送信先グループに属する送信先を順次発呼して、画像メモリに格納させた画像データを送信させる信号処理部とを備えた構成となっている。

【0005】

【作用】本発明のファクシミリ装置では、操作キーを操作するなどして送信先の電話番号と、グループ種別、必要に応じて送信先名などの送信先情報を送信先登録メモリに登録しておく。同報通信を開始するときには、送信先グループ指定手段によって、送信しようとするグループ

の種別、例えば、特定地域の得意先などを指定すれば、指定されたグループに所属する送信先の電話番号が表示部に一旦表示されるので、この表示を見て、送信すべき送信先を確認し、必要な訂正、加入を行なった後、スタートスイッチを操作すれば、自動発呼手段が作動され、指定された送信先を順次発呼して画像メモリに格納された画像データが読出され送信される。

【0006】

【実施例】以下に添付図を参照して、本発明の一実施例を説明する。図1は、本発明のファクシミリ装置Aの要部構成をブロック図をもって示したものである。図にみるように、本発明のファクシミリ装置Aは、送信先登録メモリ1と、この送信先登録メモリ1において登録設定された送信先をグループ単位で指定する送信先グループ指定手段2と、送信すべき画像データを格納した画像メモリ4と、自動発呼手段3及びこの自動発呼手段3を作動し、送信先グループ指定手段2によって指定されたグループに属する送信先を順次、発呼して画像メモリ4に格納させた画像データを送信させる信号処理部5とを備えており、送信先グループ指定手段2は、操作パネルに設けた操作キー2aなどの組合せによって構成される。なお、6は原稿から画像データを読取走査するための画像読取部、7は受信した画像データを記録紙に印字させる印字出力部、8は電話回線Lを通じて通常のファクシミリ通信手順に従って画像データを送受信させるファクシミリ送受信部である。

【0007】ここに、送信先登録メモリ1は、少なくとも送信先の電話番号、グループ種別が登録される他、送信先名や親展受信を行なう場合にはIDコードなどが登録されるようになっており、送信先登録メモリ1において登録設定された送信先は、グループ単位で送信先グループ指定手段2によって指定されるようになっている。図2のステップ100～102は、同報送信を行う送信先の電話番号と、グループ属性を送信先登録メモリ1に入力する場合の手順を示したものである。送信先登録メモリ1としては、ファクシミリ装置Aの本体適所にカード挿入用のスロット（不図示）を設け、このスロットに、ICカードなどのメモリカードを着脱可能に挿入させるようにすれば、持ち運びも可能であり、ワンタッチ、短縮ダイヤルなどのダイヤル発呼先番号も同時に格納できる利点がある。また、このようなメモリカードは、種々の容量のものがあるので、ユーザー側のニーズに合わせた容量のものを用意すればよい。送信先登録メモリ1に登録されるグループ種別としては、地域区分、仕入れや納品業者、特定グループのメンバーなどによって送信者を特定のグループに区分し、このようにして指定されたグループを送信先グループ指定手段2によって、指定すれば、指定されたグループの送信先は信号処理部5によって検索されて、図3、図4に示したように、順次表示部9に一覧表示されるので、同報通信（送

信)を行なう前に、表示部9を視認して、不要な送信先があれば削除し、また指定したグループ以外に必要な送信先があれば入力指定すればよい。図3は、075の市外局番を有した送信先グループを検索して表示部9に一覧表示させた例図、図4はグループ属性を検索して表示部9に一覧表示させた例を示している。ここに、おいて

[A]は、電話番号とともに入力されたグループの属性(例えば、特定商品の取引先、納入業者、仕入業者など)を示すコードを意味している。

【0008】自動発呼手段3は上記した送信先グループ指定手段2によって、送信すべき送信先が指定された後、操作パネルに設けたスタートスイッチ(不図示)を操作すると、信号処理部5によって作動され、指定した送信先が順次発呼されて画像メモリ4に格納させた画像データを送信先に送信する。この場合の画像データの送信は、通常のファクシミリ通信手順に従って行なわれ、送信先への送信が終了すれば、次の送信先へ送信がなされる。信号処理部5は、所定のデータ検索プログラムを実行して、送信先グループ指定手段2によって指定された特定のグループを、送信先登録メモリ1より検索し、表示部9に一覧表示させた後、自動発呼手段3を作動して、表示部9で確認された送信先を順次自動発呼して、画像メモリ4より画像データを読み出して同報送信する。図5のステップ200～209は、本発明における同報送信の制御手順を示したフローチャートである。ステップ200～205は、同報送信の指定がなされた後、グループ指定を行った送信先グループを表示部9に一覧表示させてから、スタートスイッチを操作して同報送信を開始するまでの手順を示しており、スタートスイッチが操作される前に、送信先の訂正、加入、削除を行った場合には、訂正された送信グループの一覧表示が表示部9に表示されて送信前に確認ができ、表示部9に表示される一覧表示を確認して、スタートスイッチが操作されると、自動発呼手段3が作動されて、表示部9に表示され

た送信先が順次発呼されて、画像データの同報送信が行われる(ステップ205～208参照)。

【0009】

【発明の効果】以上の説明から理解されるように、本発明のファクシミリ装置によれば、送信先登録メモリに、送信先の電話番号とグループ種別とを少なくとも予め登録させておけば、送信先グループ指定手段によってグループ種別を指定して送信を開始するだけで、指定されたグループの送信先が自動的に検索された後、自動発呼手段が作動されて同報通信を行なうことができるので、従来の同報通信機能のように、同報送信を行う毎に、送信先の電話番号などを逐一入力するような面倒さがなく、使い勝手も著しく改善される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のファクシミリ装置の要部構成をブロック図でもって示したものである。

【図2】同報送信を行う場合の送信先登録メモリの入力手順を示したフローチャートである。

【図3】同報送信に先駆けて表示部に表れる送信先グループの一覧表示例を示したものである。

【図4】同報送信に先駆けて表示部に表れる送信先グループの一覧表示の他例を示したものである。

【図5】本発明のファクシミリ装置における同報送信の基本動作の手順を示したフローチャートである。

【符号の説明】

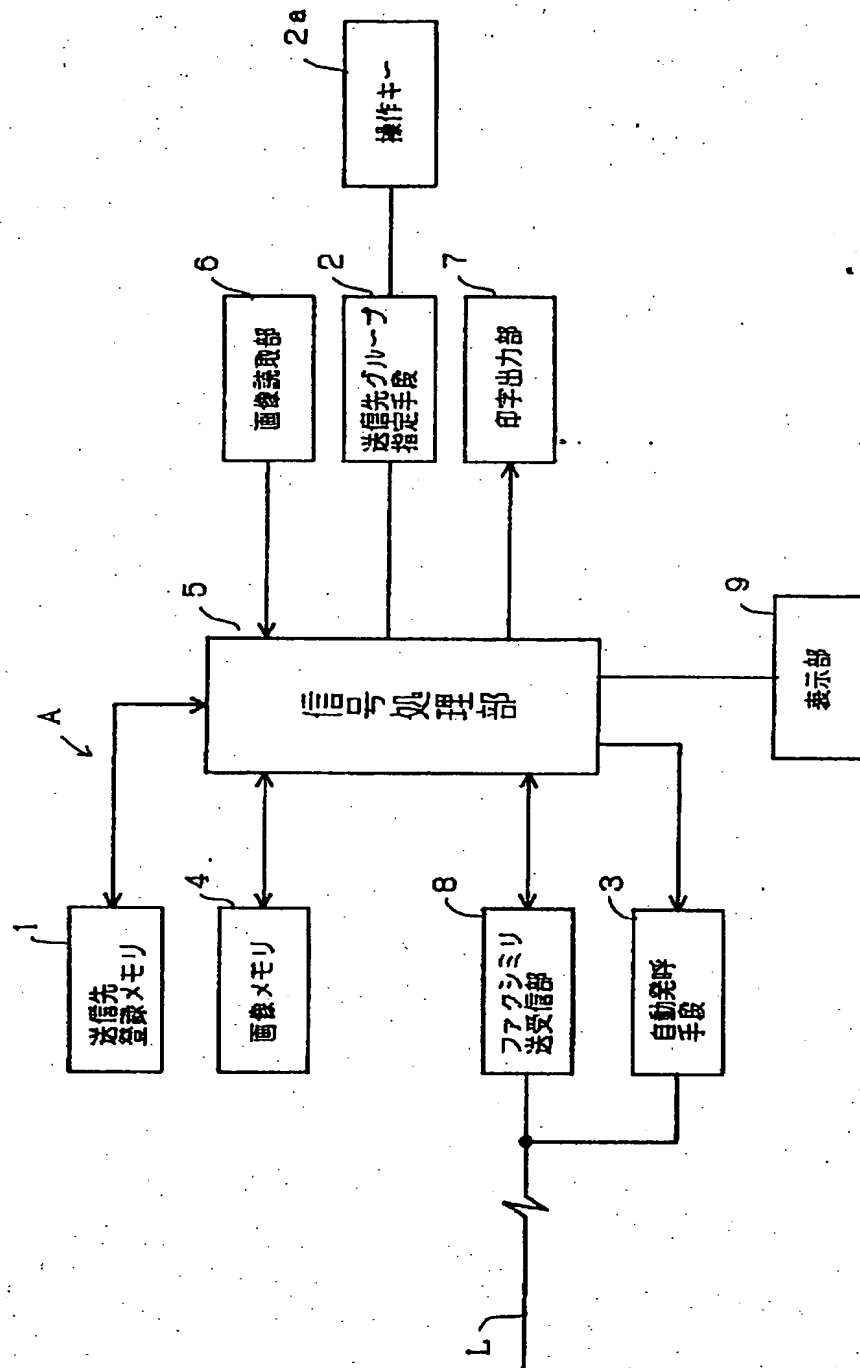
- 1・・・送信先登録メモリ
- 2・・・送信先指定グループ指定手段
- 3・・・自動発呼手段
- 4・・・画像メモリ
- 5・・・信号処理部
- 6・・・画像読取部
- 7・・・印字出力部
- 8・・・ファクシミリ送受信部

【図3】

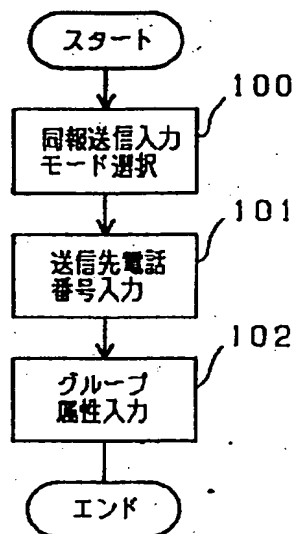
9

ドウホウツウシン		
グループ	→ →	075 * *
075	231	9086
075	822	1466
075	323	1256
075	861	7150

【図1】



【図2】



【図4】

9

ドウホウツウシン		
グループ	→	→ [A]
06	231	9086
075	822	1466
078	323	1256
03	3861	7150

【図5】

